

## 3月28日のウクライナ情報

安齋育郎

### (1)元 CIA アナリスト、ラリー・ジョンソン、クロッカスのテロ攻撃の背後にいる人々について(2024年3月24日)

彼らはウクライナがやったと知っていた。モスクワのアメリカ大使館とイギリス大使館はテロ攻撃が差し迫っているとして、全てのusアメリカ人とGBイギリス人に 48 時間外出を控えるよう警告を発した。

このような警告は具体的で信頼できる情報が入手でき、攻撃を防ぐことができない場合にのみ発せられる。

つまりアメリカはウクライナが何かを準備していることを知っていた。それが何であるかも知っていた。

ウクライナ人が何をしようとしているかも知っていた。

そして、ウクライナはそれを実行しただけでなくアメリカからの武器と支援を受けて実行したのだ。これにはホワイトハウスも怯えた。

<https://twitter.com/i/status/1771901244954841395>



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1771901244954841395?s=09>

### (2)ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相の声明(2024年3月25日)

ラブロフ外相「ロシアはあまりにも長い間西側諸国の発言を信じてきたが、今は誰も信じていない」ロシアはもはや西側諸国のいかなる約束も信じていない。西側の政治家が言ったことはすべて嘘だったことが判明した。



<https://twitter.com/olivenews/status/1771882203187909119?s=09>

### (3)モスクワのテロ実行犯 4 人をいずれも逮捕(2024年3月25日)

モスクワ のバスマンニー裁判所は、郊外のクロッカス・シティ・ホールで #テロ攻撃 を実行した容疑で拘束された 4 人の男らに逮捕状を発行した。容疑者らはいずれも 5 月 22 日まで拘留される。

◆ 逮捕された 4 人の容疑者について明らかになっている情報は以下の通り。

1 ダレルジョン・ミルゾエフ容疑者(32 歳、タジキスタン出身)、ノボシビルスクで居住登録があったものの、現在は期限切れ。

2 サイダクラミ・ラチャバリゾダ容疑者(1994 年生まれ、タジキスタン出身)、居住登録あり。

3 シャムシディン・ファリドゥニ容疑者(1998 年生まれ、タジキスタン出身)、露ポドリスクの工場に勤務、居住登録あり。

4 ムハンマドソビル・ゾキルチョノビッチ・ファイゾフ容疑者(2004 年生まれ、タジキスタン出身)、無職、以前は露イワノボ市で理髪店に勤務、居住登録あり



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1772057007908131062/photo/4](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1772057007908131062/photo/4)

### (4)ザハロワ報道官、銃撃テロめぐる米発表に疑問(2024年3月23日)

ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官は 23 日、スプートニクに対し、22 日夜にモスクワ 郊外のコンサートホールで起こった銃撃テロ をめぐる米国の反応についてコメントした。

「我々はウクライナ関与の兆候がないという米国の奇妙な声明を聞いた。何を根拠に関与や不関与について結論を出したのかは疑問だ。もし米国が信頼できる情報を持っているなら直ちにロシア側に通知すべきだ」

ホワイトハウスは 22 日夜の銃撃後、「モスクワでのテロ準備情報は把握していなかった」とコメント。一方で、「ウクライナまたはウクライナ人が関与している形跡は現時点では見当たらない」とも加えていた。



<https://sputniknews.jp/20240323/18025249.html>

## (5)「誰が犯人かを知っていた」スプートニク編集長が西側の直接的関与を指摘 (2024年3月23日)

メディアグループ『スプートニク』傘下の RT テレビ、「ロシヤ・ゼヴオードニャ」通信社のマルガリータ・シモニャン編集長は、西側の特務機関は昨日 22 日の時点で「クロッカス」でテロ実行犯がダーイシュ(ISIS、ロシアで活動が禁止)に似ていることを知っていたと指摘。

「繰り返す。彼らは誰が犯人かを知っていた。犯行が行われる前に。これは直接的な関与だ」



<https://sputniknews.jp/20240323/18028332.html>

### 〈関連情報〉

#### ●「最も奇妙なのは、米務省が即座に反応したこと」元 CIA アナリスト、銃撃テロめぐる米発表への見解示す(2024年3月23日)

元米中央情報局(CIA)のラリー・ジョンソン氏は、22 日夜にモスクワ郊外のコンサートホールで起こった銃撃テロをめぐる米務省の反応について驚いたと語った。

「最も奇妙なのは、米務省がすぐに出てきて、これ(テロの仕業)はウクライナではないと述べたことだ。銃撃犯が何人いたのかはまだわかっていないし、彼らがどのような武器を使用したのかわかっていない。何人が殺され、何人が負傷したかもわかっていないが、米務省は、それがウクライナではないことを知っているのだ」

「そしてこれは、実質的に CIA の代弁者である出版物の 1 つが、バイデン政権と諜報機関がウクライナからの『あつかましい根拠のない攻撃』を非常に懸念していると発表した日に起こった。したがって、米国は何が起こるかを知っていたのは明らかだが、ロシアには共有しなかった」

[https://sputniknews.jp/20240323/cia-18026519.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240323/cia-18026519.html?rcmd_alg=collaboration2)

### 〈関連情報2〉

#### ●モスクワのテロに ISIS が関与していたとしても、ウクライナと米国の役割には深刻な疑問＝イラン人専門家(2024年3月24日)

モスクワ郊外で起きたテロ事件とウクライナは無関係だとする米国の主張は、特に攻撃の「本当の詳細」が明らかになる前に米国がこのシナリオを推し進め始めたという事実を考えると、「非常に奇妙」に思われる。テヘラン大学教授の政治アナリスト、セイド・モハマド・マランディ氏がスプートニクにこのように語った。

同氏は、米国が「コンサートを名指して、モスクワでの攻撃や大規模集会などについて詳細を示して、テロ攻撃についてこれほど詳細な渡航勧告や警告を発することができた」という事実も奇妙だと考えた。



また、テロ組織「ISIS (IS、イスラム国、ロシアで活動禁止)」が今回の攻撃に関与している可能性があるという主張に言及し、マランディ氏は、こうした報道は「ウクライナと ISIS の間の協力、あるいは米国の潜在的な役割を排除するものではない」と主張した。

「ISIS は何年もの間、NATO 諸国と協力し、イスラエルと協力し、シリアでは他の米国の同盟国とも協力してきた。そしてウクライナもまた NATO 諸国に深く依存している」

マランディ氏はまた、ISIS は米国の敵を攻撃することに「常に焦点を当てている」が、ISIS が NATO 加盟国や西側諸国と同盟を結んでいる国々に対して攻撃することは「非常に稀」だと指摘した。

[https://sputniknews.jp/20240324/isis-18034113.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240324/isis-18034113.html?rcmd_alg=collaboration2)

### 〈関連情報3〉

●テロの捜査が終了するまでは、米国による宇を正当化するあらゆる発言は証拠となる 露外務省報道官(2024年3月24日)

モスクワ郊外のコンサートホール「クロツカス・シティ・ホール」で発生した銃撃テロの捜査が終了するまでは、キエフを正当化するワシントンのあらゆる発言は証拠としてみなされるべきである。ロシア外務省のザハロワ報道官が Telegram チャンネルに投稿した。

「『クロツカス』でのテロ攻撃の捜査が完了するまでは、キエフを正当化するワシントンのあらゆる発言は証拠としてみなされるべきである」

<https://sputniknews.jp/20240324/18035081.html>

### 〈関連情報4〉

●ISIS がモスクワ郊外銃撃テロの背後にいるなど誰も信じない 元米国防省アナリスト(2024年3月24日)

元米国防総省アナリストのカレン・クヴァツスキー退役中佐は、モスクワ近郊のコンサートホール銃撃テロについて、「テロの背後にいた存在として、即座に疑われるのは米国、NATO、ウクライナだ」と指摘した。同氏はスプートニクからの取材にこう語っている。

クヴァツスキー氏は、結論は「ウクライナにおける NATO と米国の代理戦争の一環として、ロシアの民間人や文化センターに対するテロ攻撃が最近、激化している現実を踏まえれば」導き出せると指摘している。

「ウクライナには、米国や NATO の支援や知識もなく、独自にこうした攻撃を行えたのだろうか？ それもありうるかもしれない。だが、戦争はもう 2 年以上も続いており、米国や NATO はウクライナに日常的に情報提供や座標の支援を行っている。このため、潔白を証明することなく、関与を否定するのは難しいだろう」

クヴァツスキー氏はまた、最新の発表で少なくとも 143 人が死亡した銃撃テロの「別の説明」にも触れている。

「この件でウクライナが非難されることは当然の範疇だし、それが最もありうる説だ。ISIS\*が、ロシアのシリア支援への仕返しとしてやったというような別の説明を用意しておくとは型通りのことで、それを皆が信じると考えるのも、米国の型通りの愚かさだ」

[https://sputniknews.jp/20240324/isis-18035470.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240324/isis-18035470.html?rcmd_alg=collaboration2)

## (6)特別軍事作戦 3月23日の概要 露国防省(2024年3月23日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する週報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

アブデーフカ方面でウクライナ軍は過去 24 時間に最大 350 人の兵士を失った。

ドネツク方面でロシア軍は過去 24 時間にウクライナ軍による 4 回の反撃を撃退、クラスノエ村を解放した。ウクライナ軍は最大 200 人の兵士と多連装ロケットシステム「グラート」を失った。

ユジノドネツク方面でロシア軍はウクライナ軍による攻撃を撃退。ウクライナ軍は最大 65 人の兵士を失った。

ヘルソン方面でウクライナ軍は最大 40 人の兵士と M777 榴弾砲 2 門を失った。

クピャンスク方面でウクライナ軍は最大 20 人の兵士、自走榴弾砲「カエサル」、多連装ロケットシステム「グラート」の戦闘車両を失った。

ロシア軍は防空ミサイルシステム S-300 の発射機 2 基、外国人傭兵の一時的な滞在場所を破壊した。

ロシアの防空システムは過去 24 時間にドローン 171 機を破壊し、高機動ロケット砲システム「ハイマース」と多連装ロケット砲「ヴァンピール」から発射された 29 発を撃墜した。



<https://sputniknews.jp/20240323/323-18031284.html?rcmd alg=collaboration2>

## (7)ウクライナの治安(2024年3月24日)

ネオナチ(極右主義者)のグループたちは、自分たちの思想と意をたがえる市民には粘着テープで電柱にグルグル巻にされ、ムチでを打たれる。これがバイデンなどが言う民主主義の砦というウクライナの実体です..

<https://twitter.com/i/status/1771329855273234469>



<https://twitter.com/yiyirobot/status/1771329855273234469?s=09>

## (8)【News 訳】US と UK がアジアの NATO 拡大急ぐ(20 日の記事、投稿:2024 年3月22日)

ポリティコ紙は、カナダと日本が年内に AUKUS(豪英米)同盟に加盟する予定で、ホワイトハウスは今年 11 月の選挙前に決着を付けようと急いでいると伝えた。

カナダと日本はこの軍事同盟に参加し、AI や超音速ミサイルなどの最新兵器技術開発で協力すると言う。

AUKUS は 2021 年にアメリカとイギリスが協力してオーストラリアに原子力潜水艦を保有させる際に発足した。その後加盟国候補としてカナダ、日本、インド、ニュージーランド、韓国が浮上している。

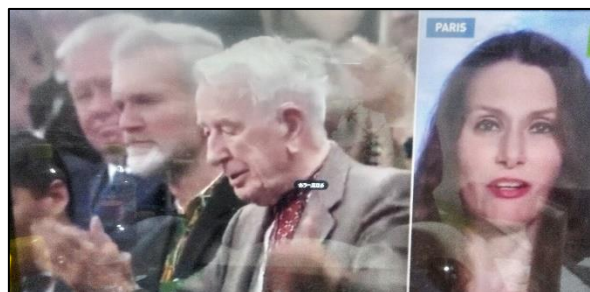
”もしこの同盟国を増やす(Pillar2)が失敗すると、AUKUS そのものが失敗だったと言う事になる。Pillar1 ではただの原子力潜水艦取引だけだったから。年内に Pillar2 の決着が付くと確信している”と外交官は Politico に語った。

中国は AUKUS 同盟について、”アジア太平洋バージョンの NATO だ”と非難しており、外相は”冷戦時代メンタルは軍拡のみに重きを置くため、核不拡散体制や地域の平穏にダメージがある”と去年述べている。



<https://twitter.com/Jano661/status/1771134896016347586?s=09>

## (9)ウクライナのテルノポリ、カナダ議会から表彰されたナチス退役軍人に勲章を授与(2024年3月22日)



<https://twitter.com/i/status/1771057700807311636>

ウクライナの Ternopol は、悪名高いナチス親衛隊の退役軍人ヤロスラフ・フンカ( Yaroslav Hunka)に勲章を授与することを決定した。ウクライナ当局は、この新しい勲章をどう正当化したのだろうか？(※安齋注:フンカ氏はカナダ議会がスタンディング・オベーションで称えて問題になった人物)


<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1771057700807311636?s=09>

## (10)クロッカステロ。アメリカ大使館のウェブサイトに警告が発せられたのは3月7日でした(2024年3月23日)

48時間以内にテロ攻撃が起こるだろうと発表した。

3月9日、シャーマンはクロッカス市庁舎でショーを行う予定だった。シャーマンは愛国的なロシアのポップ歌手で、ウクライナ人や反プーチン派はロシアのプロパガンダの武器とみなしている。

### Концерт SHAMAN



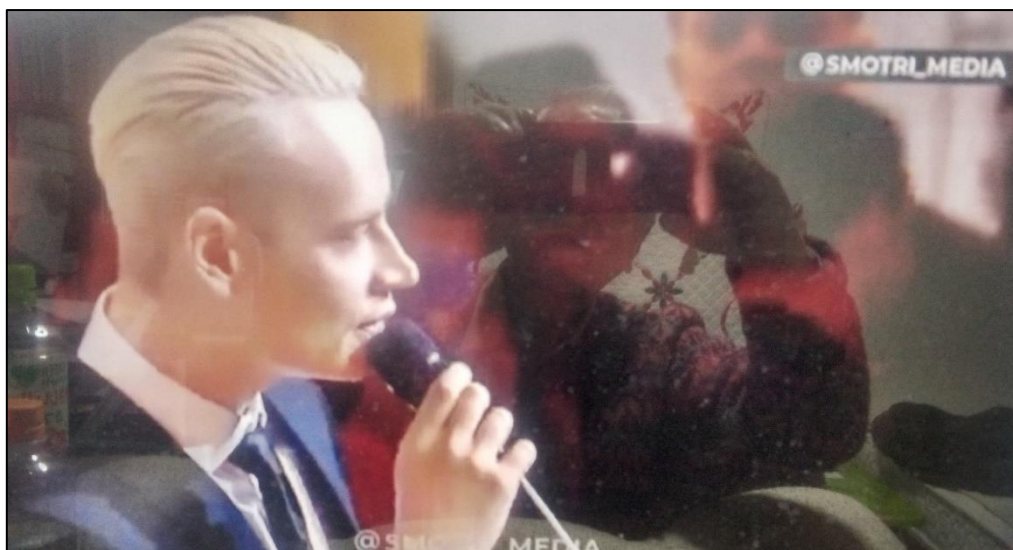
Дата  
9 марта - 11 марта 2024

Место  
Крокус Сити Холл

Адрес  
Россия, Московская область, Красногорск  
Международная улица, 20

Исполнитель / Артист  
SHAMAN

<https://twitter.com/i/status/1771323444187247015>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1771323444187247015?s=09>